



いのちのせんせい 「いのちをかがやかせて ~困っている人がいたら?~」

18日(金)、高松市身体障がい者相談員で手話通訳士の白川友子氏をお招きして、「いのちのせんせい」のご講演がありました。高学年は体育館で、中学年は教室でリモートで拝聴しました。



〈児童のお礼の手紙の一部抜粋〉

- 自転車の事故のことがすごく心に残りました。これからこのような事故が起きていたら人助けをします。それに車椅子の人の話を聞いたらショックではなく絶望したけれど、今は負けずに生きているということを知ったので、命を大事に過ごします。 6年 KOさん
- 今回のお話を聞いて心に残っていることは、障がいがある人でも、みんな同じということです。耳や目が不自由でも、みんな人間だから平等に接しないといけないと思いました。 6年 ROさん
- 自転車の事故の話聞いて、『自分の思っていることが当たり前ではない。』ということが心に残りました。 6年 HTさん
- 心に残ったことは、耳が不自由な人のうち三割の人しか手話ができないことです。もし耳が不自由な人と話すときは、手話が必要だなあと思いました。今回の講演をきっかけに手話についてもっと知り、耳が不自由な人と話せるようになりたいです。 6年 JHさん
- ぼくが心に残ったのは、体が不自由な方々は、障がいのため勘違いをされてしまったり、事故に巻き込まれてしまったりしてしまうことです。そして、それでも、日々努力を続けて生活をしていることです。また手話や手話通訳士の方は、人と人との心の架け橋で、とても大切なことだということを感じました。 6年 MTさん

自転車教室が始まりました！ 3年生

21日から、3年生の「自転車教室」が始まりました。自転車を持ってきていただいたり、取りに来ていただいたりとお手数をおかけしますがよろしくお願いします。

初日の21日の5校時に校長から

- 「3年生からは徒歩より自転車に乗っているときの方が事故に遭うことが多い。」
- 「自転車による事故が起きやすい時間帯はちょうど下校後頃である。」
- 「自宅付近の交差点で事故に遭うことが多い。」
- 「被害者ではなく加害者になることもある。」

等のお話をしました。3年生全員、真剣な表情で聞いてくれました。

学校では、交通ルールや技能について指導しますが、ぜひご家庭でのご指導をよろしくお願いします。

